

長岡市・和島村合併協議会第4回
長岡市・寺泊町合併協議会第4回
長岡市・栃尾市合併協議会第3回
長岡市・与板町合併協議会第4回

新市建設計画策定小委員会

議 事 録

新市建設計画策定小委員会会議録

1 会議を開催した日時及び場所

- ・日 時 平成17年3月10日(木) 午後5時30分
- ・場 所 長岡市役所第3委員会室

2 会議出席委員の氏名

委員長：豊口 協 副委員長：鯉江 康正
【長岡市】二澤 和夫 大地 正幸
【和島村】佐々木貞夫 池田 彌
【寺泊町】島田 紀男 田村勝三郎
【栃尾市】外山 康男 平林 豊作
【与板町】安達 正廣 石丸 誠亮
【学識経験者】阿部 誠一

以上 13名

3 議題及び議事の要旨

別紙のとおり

長岡市・和島村、長岡市・寺泊町、長岡市・栃尾市、長岡市・与板町
合併協議会新市建設計画策定小委員会

事務局（北谷）

皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。ただいまより長岡市・和島村合併協議会、長岡市・寺泊町合併協議会、長岡市・栃尾市合併協議会、長岡市・与板町合併協議会合同の新市建設計画策定小委員会を開催させていただきます。

本日小委員会は、全員のご出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

事務局といたしましても、きょうこの会議を迎えることができてほっとしております。また、委員各位におかれましては、短期間ではございましたけれども、集中的にご審議いただいて、中身の濃いものが策定されていると思っております。この場をおかりして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

次に、本日の資料の確認をお願いしたいと思います。事前に会議次第、資料1及び資料2を配付してございますが、会議次第は本日お配りしているものをお使いいただきたいと思います。資料の方は皆様よろしいでしょうか。資料1につきましては、栃尾市さんについて配付ございませんので、ご了承いただきたいと思います。

この新市建設計画は、合併特例法に基づきまして、県知事に対して協議することになっております。その協議の前段として、前回まで委員各位の皆様からいただいたご意見を反映して、修正、整理したものを今まで県と協議をしまいいりました。県との協議が終わりましたので、本日、皆様方に配付をさせてご説明をさせていただき、ご承認いただければ、あすの法定協にかける段取りになっております。

それでは、恐れ入りますが、ご発言の際はマイクを使われますようお願いいたします。この後の議事進行につきましては、豊口委員長よりお願いいたします。

委員長（豊口 協）

それでは、これから議事を進行させていただきたいと思います。

今事務局から説明がございましたけれども、あすの協議会に提案する議案として、きょうはご審議をいただくということになります。今事務局から説明がありましたように、次第の2と3、地域別整備・活動方針についてと新市建設計画書の案、これをまとめて説明をしていただくということにしたいと思います。よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

事務局、よろしくようお願いいたします。

事務局（竹見）

それでは、事務局からご説明をいたします。

本日各協議会ごとにご説明いたしますので、よろしくをお願いします。

次第2には資料1が、それから次第の3につきましては資料2が対応しておりますので、よろしくお願いたします。

前回の協議会で報告させていただきました時点から県の事前協議や小委員会、協議会の委員の皆様方のご意見をもとに修正や追加をしてきました部分を中心にご説明をいたします。細かい字句等の修正等は省略させていただきます。

まず、長岡市・和島村新市建設計画についてご説明いたします。和島村さんの資料1、それから長岡市・和島村新市建設計画、資料2をごらんください。新潟県との事前協議におきましては、資料1、地域別整備・活動方針、それから資料2の新市建設計画ともに修正等はありませんでしたので、ご確認をいただきたいと思います。

続きまして、長岡市・寺泊町新市建設計画でございます。まず、資料1、地域別整備・活動方針の方につきましては、細かい字句等以外につきましては、特に修正はありませんでした。資料2、長岡市・寺泊町新市建設計画（案）の25ページをごらんください。第3回目の小委員会で、重点実現項目のところで、蛸が舞い、人の豊かな営みが展開する「食」「農」のユートピアを生み出すというところに、漁業の「漁」を入れた方がよいのではないかというご意見を委員の方からいただきました。ただ、こちらの変更についての手続を県に問い合わせしてみたところ、6市町村で策定いたしました長岡地域の建設計画の変更が必要であるということや、それから大事なのは寺泊町さんの意向であるということ、意向を確認させていただきました。その中で寺泊町の基幹産業が農業であるということや、それから漁というものは食の中に含まれているということでご理解いただいているという形の中で、修正を今回は特にしていません。

それから、続きまして、54ページをごらんください。54ページ、元気に満ちた米産地の一番下にございます魅力ある海・川・山創出事業でございますけれども、第2回目の合併協議会で委員さんからご意見いただきました。大河津分水の改修のことをご意見いただいたわけなんですけど、そのご意見をもとに修正を行っております。魅力ある海・川・山創出事業の下に説明文書でございます。「海岸線や」の次に、こちらの方に「大河津分水」という文字を入れておきました。「海岸線や、大河津分水など海に注ぐ川、源となる山を市民で守り、豊かな環境と魅力ある景観づくりを促進する」という形で修正しております。

それから、矢印の「環境教育や」の次でございますけれども、「治水教育」を加えております。これは、まず大河津分水というものは、アユの稚魚を大河津分水の河口で県内水面漁協の方々が買い入れ、それを上流へ放流しているということや、サケの採卵も河口で行っており、ふ化させた後に再び海に放流するというので、単に水が上流から来るということだけではなくて、生物の結びつきも強いという

ことから追記をしております。それから、大河津分水が水害との闘いの歴史により現在があるということから、治水教育というものをこちらの記載のように追記をしております。

それから、続きまして、70ページごらんください。新潟県の事業でございます。道路整備のところそれぞれ当初野積、町軽井という形で寺泊町が抜けておりましたけども、こちらを県のご意見の中で「寺泊町」をそれぞれ追加しております。

それから、71ページをごらんください。海岸・港湾整備の事業種別の港湾改修のところ、寺泊港湾整備事業でございます。こちら当初改修事業という形でしたけれども、新潟県の方からご意見いただきまして、寺泊港湾整備事業という形で修正をしております。

長岡市・寺泊町の新市建設計画につきましては、以上でございます。どうぞご確認ください。

続きまして、長岡市・栃尾市新市建設計画でございます。71ページをごらんください。こちら新潟県事業でございます。河川・砂防整備の砂防のところでございます。砂防の一番下でございますけども、当初来伝川通常砂防事業ということでしたけども、名称をこちらの記載のように県のご担当からご意見いただき、上来伝砂防事業ということで修正をしております。どうぞ確認をください。

長岡市・栃尾市新市建設計画は以上でございます。

続きまして、長岡市・与板町新市建設計画です。まず、資料1の方は特に修正等はございません。

資料2、長岡市・与板町新市建設計画(案)をごらんください。ページ飛びまして70ページをごらんください。新市建設の根幹となる新潟県事業の道路整備のところでございます。道路整備のところ一般国道403号(与板町本与板)〔本与板橋渋滞対策〕、こちらをこのたび県との協議により新たに追加をしております。本路線は、新長岡の中心部や関係市町村間を連絡するとともに、北陸自動車道中之島見附インターチェンジ、それから地方港湾寺泊港を結ぶ重要な物流ルートでございますけれども、与板橋西詰交差点付近では通勤時間帯、それから観光シーズンには慢性的な渋滞が発生すると。そういったことを道路改良によりその渋滞を解消して、道路利用者の利便性及び物流の改善を図り、アクセス強化を図っていくということで、県との協議の中で新たに追加をしております。

以上でございます。どうぞ確認をください。説明は以上です。

委員長(豊口 協)

どうもありがとうございました。

それでは、1地区ずつ順番に確認をしてみたいと思いますけれども、最初に和島地域です。資料1については特に修正はなかったということですが、資料2の方につきましても、特に修正等、県との協議によって出てきていないという格好でございますが、よろしゅうございますか。

委員(鯉江康正)

最初の資料の字が間違っているんですけど。

委員長(豊口 協)

新市の地域らしさ価値のところですね。

これは価値が違っておりましたね。

済みません、ありがとうございました。

ほかよろしいでしょうか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

それでは、次の2番目でございますが、寺泊町、これはかなり県との協議の中で修正箇所が起きておりますけれども、特に資料1についてはありませんが、資料2の方で5カ所ほど修正、追記がございます。最初に、25ページ、漁業の件ですけれども、これは特に記載する必要はないだろうというふうなことであったと思いますが、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

続きまして、54ページ、大河津の件でございます。これも修正、追記がございます。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございます。

それから、さらに70ページだと思っておりますが、一番最後のところに主要地方道長岡寺泊線の寺泊町竹森と修正になっております。

「上の町軽井も」という声あり

委員長（豊口 協）

寺泊町は以上ですが、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

それでは、3番目の栃尾市の件ですが、これは資料1が特にございませんので、資料2ですけれども、ここも71ページに一部修正がございます。上来伝砂防事業というのが修正になっていますが、これはよろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

最後になりましたけれども、与板町の件です。これも資料1につきましては、特に修正はございませんし、資料2の方は70ページ、ここに一般国道403号という件が追加されております。よろしいですか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

以上でそれぞれの地域のご確認をいただきました。特にご質問等がなければ皆さん方のご承認を得たということによろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

それでは、協議会から付託されました新市建設計画案を策定することについて、あすの協議会に議案として提出をしていくこととなりますけれども、各小委員会ごとにもう一度ご確認をさせていただきたいと思いますが、最初に和島村合併協議会の小委員会の方々、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

次に、寺泊町合併協議会の小委員会の委員の方々、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

それでは、栃尾市合併協議会の小委員会の委員の方々、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

最後になりましたが、与板町合併協議会小委員会の方々、よろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

それでは、こういうことであしたの協議会に提出をするということにさせていただきます。どうもありがとうございました。

ここまでまとめていただきまして、いよいよ大詰めに来たという感じがいたしておりますけれども、事務局から何か追加の説明等がありましたらお願いしたいと思います。

事務局（高橋）

追加の説明といたしますか、今後の予定について少しお話をさせていただきます。

本日の小委員会でご承認をいただきました新市建設計画の案でございますが、先ほど委員長からも話がございましたが、明日の協議会に議案として提案をいたします。なお、本日も審議いただきました資料1、資料2、二つあるわけですが、資料1、地域の夢につきましては、建設計画の附帯資料として明

日協議会の方にご提案をさせていただき、ご審議をいただく予定でございます。栃尾市さんについては、地域の夢がございませんので、建設計画書の本文の方のご審議をいただくということになります。

それから、本日皆様方の方にお示しをさせていただきます建設計画は、追記をした部分を網かけ表記をしており、わかりやすくそういう表記をしておるわけですが、県へ協議会を経て正式協議を上げるわけですが、その際にはいわゆる追記した部分を含めて正式な書類として出しますので、網かけを外すような形になります。したがって、明日の協議会にお諮りするものについても本日のものとは違って、文面は同じですが、網かけの表記は外すような形、いわゆる正式なものとして出す形で提案をさせていただくこととなりますので、よろしく願いをいたします。

そして、明日の協議会で承認をされました後に、今までは事前協議という形でしたが、今度は正式な協議として県に提出をすることになります。かなり事前の協議で県とやりとりをさせていただいておりますので、県からさらなる意見はある程度つかないだろうと想定をしております。恐らくは、来週の半ばぐらいには県の方から正式協議の回答が得られるという見込みを事務局としては考えております。そして、それを待ちまして、予定でございますが、来週金曜日18日の日には、協議会で決められた内容を協定という形で調印式を行いたいというふうに考えております。皆様方のところにもご案内を出させていただき予定しておりますので、よろしく願いをいたします。

事務局（北谷）

事務局からもう一つお話をぜひさせていただきたいと思います。

各委員の方々には、建設計画の策定にご難儀いただいたわけですが、おとといなんです、この時点になっても長岡市議会の某、一部の議員でございますが、長岡市の建設計画には具体的な事業名がなくわかりづらいとか、金額が載っていないとか、おかしいんじゃないかという質問が本会議でございました。私は答弁いたしました、長岡市あるいは今後つくる4市町村との建設計画も合併した後10年間でどういう事業をやるのかと。どういう事業をやるのかというのを小委員会で決めたと。決まった各事業について実際に事業を実施するときに、ハード物でいえばどういうコンセプトで整備していくかによっても金額が変わるわけですから、今の段階で金額を明示することは不可能ですという説明をさせていただきます。多分今後皆さん各地域にお帰りになったときでも、小委員会の委員でございますので、同様の質問が皆様方に集中すると思われそうですが、またご難儀をおかけいたしますけども、その辺はきちんと説明をしていただくようお願い申し上げたいと思います。

以上です。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

これで小委員会のすべての日程は終わることになるわけでございますけども、本当に短期間にご協力いただきまして、ありがとうございました。特にこれをまとめていただいた事務局の若手の方々、大変な苦勞をされてまとめてくださいました。特にその中で私も感動的な場があるんですけども、いかに胸

と胸とを開いてお互いの意見を交換して、将来の夢をそこに託すかということがいろんなところで実は交わされていたというふうに聞かされております。少なくともこの小委員会で承認したこの計画書、これは将来の新しいまちがどうなるかと、どうしたいんだという夢が全部託されておりまして、周辺の市町村から、というのは今度10市町村以外の周辺の日本じゅうのあっちこっちから非常に大きな期待と、一つの目を持って注目されている計画書になっておりますので、これからはお互いの地域の人々のコミュニケーションをさらに具体化していきながら、本当にみんながすばらしいまちができたんだと言ってくれるようなぜひ新しい市を誕生させていければというふうに考えています。ここまで来ましたこと、本当に改めて委員長としては厚く御礼を申し上げたいと思っております。ありがとうございました。

最後に、副委員長、ちょっとお話ありましたら。

副委員長（鯉江康正）

どうも、鯉江です。

これまでのご協力大変ありがとうございました。私なりに一生懸命やっただけお役に立てたかというのは、ちょっと疑問もあるところではあります。ただ、今この長岡地域、いわゆる合併した後の新市長岡市というのは、いろんな意味で日本全国から注目されております。水害もあったし、地震もあったし、大雪もあったしということで大変な注目を受けている中で、やはり地域らしさ価値を生かして、いかにすばらしいまちをつくっていくかということが今後問われることだと思しますので、今後とも皆さんのお力添えでいいまちになるようにしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

どうもありがとうございました。

委員長（豊口 協）

それでは、この小委員会、これで終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

（散会 午後5時53分）